

渋谷を
潤して、
強くする。中村
たけし
レポート

令和8年1月号

新年ご挨拶ならびに近況報告

新春のお慶びを申し上げます。昨年は、6月に渋谷区議会議員の職を辞し、東京都議会議員選挙に挑戦をさせていただきました。ご支援いただきました皆様に心から感謝申し上げます。力不足により次点となり大変悔しい思いです。選挙を経て、多くのものを失い、周囲の皆様にご苦勞をおかけしましたが、得られた財産は渋谷区全域でいただいた多くのご縁、そして活動エリアと幅が広がったことです。再チャレンジをすべく、選挙翌日から駅での街頭活動、地域活動を再開し、半年間引き続き渋谷区政、東京都政の進展のため尽力しています。各分野の状況は後段をご参照ください。

本年は、この財産を糧としてさらなる自身の成長もさることながら、皆様がこれまで以上に安全安心に、そして豊かな生活ができますよう政策の実現に尽力する一年にしていきたいと思います。本年もどうぞ中村たけしをよろしく願い申し上げます。

自民党東京都連都政対策副委員長
前渋谷区議会議員

中村たけし

政治活動

引き続き渋谷区民の皆様からのご要望にお応えすべく行政に働きかけて制度改革、課題解決に努めております。高市政権となり、自民党の一員として、国政、都政、区政を連携させて、東京都と渋谷区の課題解決に向け政策実現のために奮闘しております。現在は、民泊規制、宿泊税見直し、公道カート規制、ペット防災などに取り組んでいます。



地域活動

選挙が終わったからといって、当選できなかったからといって、活動量を減らすわけにはいきません。引き続き地元での青少年育成、体育会、消防団、町会、商店会活動などに尽力し、渋谷区全域で得たご縁を糧に区内を走り回っています。様々な触れ合いの中で、各地域の実情と課題、その解決に尽力しています。各地域での催しで見かけた際にはぜひお気軽に声がけください。



経済活動

「議員ではない状況で生活はどうしているの?」と皆様に心配をおかけしていますが、大丈夫です。都議選後にはご依頼のあった複数の企業、団体のアドバイザー、顧問として生計を立てています。議員としての活動前も当選後も変わらず、長らくビジネス界に身を置いていた実業家としてご評価いただき、官民を繋ぎ連携して社会貢献をすすめています。皆様のビジネスで必要があればぜひご用命ください。お役に立ちます。



皆様の豊かな生活のため、 多くの政策の立案・提言を行っています。

1 ペット防災

災害発生時のペット同伴避難や在宅避難など、ペットと共に生活する住民が適切に対応できるよう、区内のペット専門学校、ボランティア団体、獣医師会、行政が連携するペット防災ネットワークを構築すべく動いています。個別に取り組んでいる組織団体を繋ぎ、ネットワークを構築することで、相互協力により有事に迅速な対応を取るために平時から準備し、大切なペットとの豊かな生活を継続できるよう取り組んでいます。

2 宿泊税見直し

都で20年ほど前からホテルや旅館の宿泊者に課税している宿泊税を最大1泊200円から定率制(提案では3%)にして増額する見直しを提案しています。激増している国内外からの観光客が渋谷区を訪れることは歓迎ですが、来街者による迷惑路上飲酒、ゴミのポイ捨て等の街の環境悪化、住宅街の民泊施設における騒音や交通渋滞等が起っています。対策費用に現在は渋谷区の予算を数億円充てています。税金は区民の豊かな生活のために使われるべきであり、来街者に一定の負担を求めることは当然と考えます。都税であり、その税収をインバウンド客の対応に費用がかかる区に補助をする仕組みも実現しなければなりません。区民とインバウンド客の双方が満足できるまちづくりが重要です。

3 公道カート規制

私が区議会議員として尽力し、渋谷区においては令和5年7月から条例が施行されました。新規事業者は近隣への説明、理解を得ることが条件となり、区が定める規定を順守することを誓約し、違反をした場合には区の指導に従うこととなります。施行後新規の店が抑制されましたが、逆に近隣区に事業者が流れ、結局渋谷駅周辺を通行する状況は変わりません。交通ルールの順守や、事故発生時の責任を事業者が負うことなど、渋谷区で条例化した内容を東京都内の近隣区にも広げていけるよう実現していきます。

4 民泊規制

インバウンド客を中心とした区内宿泊施設の不足解消のために国策で民泊事業が整備されて数年が経過しました。住宅街の民泊施設における深夜の騒音やごみ出しルールを守らないなど多くの課題が散見されることから、区民の皆様が安全安心に生活できるよう制度変更を提案し見直しが進められています。



【最新ニュース】第6回渋谷経済フォーラムを開催しました!

今年も200名以上の皆様に参加いただきました。2人の講師と共に議論したテーマは「今後の東京の役割と勝ち筋」。岸博幸 慶應大学院教授からは高市政権における必要な長期的経済対策や対中政策について、平将明 前デジタル大臣からはAI、データ戦略とサイバーセキュリティについての示唆がありました。副題の自民党を変えよう、についても忌憚のない意見が飛び交いました。参加者同士の交流会も大変好評で、新たなビジネスに発展する話がいくつも聞かれ、有意義との評価に感謝です。



世界に誇れる日本を、渋谷から、東京から

中村たけしプロフィール

渋谷区議会議員を2期務め、2025年東京都議会議員選挙(渋谷区)自民党公認候補として挑戦するも次点。選挙後も渋谷区において地域活動を継続し、次の挑戦に向けて精力的に活動中。政治活動と合わせ、複数の企業、団体から依頼を受け顧問、アドバイザーとして生計を立て、官民連携して渋谷区の安全安心、生活の充実のため前に向かって進んでいます。

【政治活動】

前渋谷区議会議員/2025年東京都議会議員選挙(渋谷区)自民党公認候補
前早稲田大学パブリックサービス研究所 招聘研究員
自由民主党 東京都支部連合会 都政対策 副委員長
自由民主党 渋谷総支部 事務局長 兼 政務調査会長

【地域活動】

渋谷区相撲連盟理事長
渋谷区青少年対策氷川地区委員会 副会長/渋谷区氷川地区体育会 理事
渋谷消防団/渋谷法人会/東京商工会議所渋谷支部/東京渋谷ライオンズクラブ 会員

【社会活動】

(公社)東京青年会議所 第66代理事長(2015年)、(公社)日本青年会議所 監査担当役員(2016年)、国際青年会議所 国連事業担当役員(2016年)、第31回わんぱく相撲全国大会 大会会長

■学歴

最終学歴:早稲田大学大学院修了(公共経営修士)
明治大学卒(2000年、政経)、米國オレゴン大学卒(2001年、政治)の後ヒューレット・パッカード(IT)、モルガン・スタンレー(金融・不動産)、インベスコ(資産運用)、WeWorkを経て渋谷区議会議員(2期)。2025年6月に東京都議会議員選挙に挑戦(3位、次点)。再チャレンジのため精力的に政治活動を継続中。